

# 第75回 定時株主総会招集ご通知

開催  
日時

2025年6月25日(水曜日)  
午前10時(受付開始午前9時)

開催  
場所

東京都港区芝浦三丁目1番21号  
msb Tamachi  
田町ステーションタワーS 4階  
TKPガーデンシティPREMIUM田町

決議  
事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 取締役8名選任の件
- 第3号議案 監査役1名選任の件
- 第4号議案 補欠監査役2名選任の件

目次

株主の皆さまへ(トップメッセージ) .....	1
招集ご通知 .....	3
株主総会参考書類 .....	6
事業報告 .....	20
連結計算書類 .....	29



株式会社サトー  
[www.sato.co.jp](http://www.sato.co.jp)  
証券コード:6287



## 株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年4月1日、サトーホールディングス株式会社は、主要事業機能を担う株式会社サトーと統合し、新たに「株式会社サトー」としてスタートいたしました。

2011年に持株会社体制へ移行して以降、次世代経営人財の育成や新規事業への投資など、一定の成果を上げてまいりました。一方で、グループ全体の迅速な意思決定や経営資源の最適配分が難しく、変化の激しい事業環境に柔軟かつ的確に対応していくためには、体制の見直しが必要であるとの認識が高まっていました。そこで2018年から、開発・製造・販売を一体化するなど、段階的にグループ各社を統合し、経営の合理化を進めてまいりました。そしてこのたび、その集大成として、ホールディングスと事業会社を統合し、より迅速かつ柔軟に対応できる経営体制へと移行いたしました。

本統合により、成長とともに多層化した組織を最適化し、コスト削減と成長投資の余地を広げます。サステナビリティ経営の推進や人的資本の有効活用、ガバナンスの強化にも一層取り組み、企業価値の最大化にまい進してまいります。

引き続き、皆さまの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役  
社長執行役員 グループCEO

小沼 宏行

## サトー企業理念

社是 **あくなき創造**  
あくなき創造

### 使命 Mission

優れた製品・サービスでお客様の  
新たな価値を創造し、より豊かで持続可能な  
世界社会の発展に貢献することを使命とします。

### ビジョン Vision

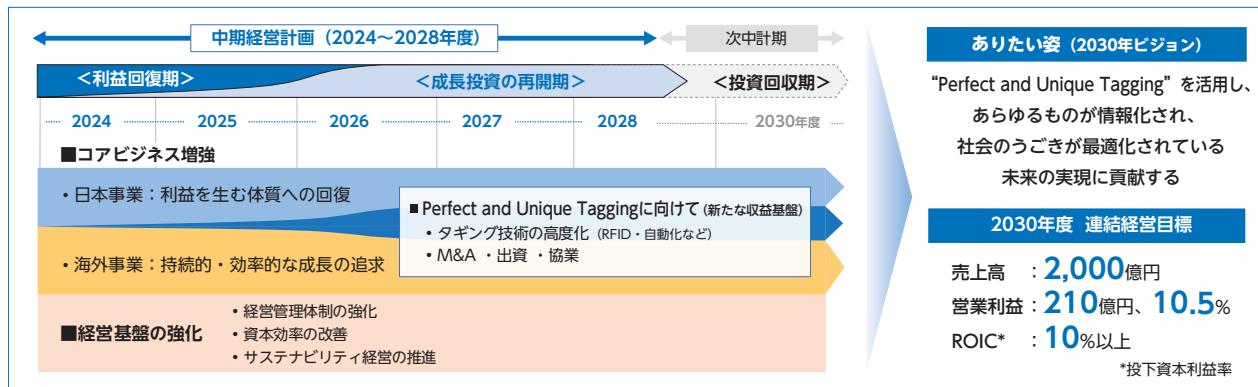
お客様に最も信頼され、  
お客様と共に成長し、変わりゆく社会から  
必要とされ続ける会社になること。

### 信条 Credo

- 「あくなき創造」の精神の下、変化と新しいアイデアを追求し、失敗を恐れず顧客志向のイノベーションを推進します。
- 真のプロとして、お客様の期待を超えることにこだわりを持ち、常に全力を尽くします。
- 物事をありのままに見て、なすべきことを今すぐ実行します。
- すべての社員を個人として尊重し、お互いに信頼し合い、そしてチームとして一致協力します。
- 大企業病につながる形式主義を排除し、自由闊達な組織であり続けます。
- 得られた成果を、株主・社員・社会・会社の四者に還元します。

## 2024年度(2024年4月～2025年3月)の振り返りと今後の成長に向けて

当社は、“Perfect and Unique Tagging (PUT)”を活用し、あらゆるモノや人が情報化され、社会の動きそのものが最適化されている未来の実現に貢献することを2030年ビジョンとして掲げています。これまで当社は、個々のモノや人に情報を紐づけ、現場での課題解決を支えてきた「タギング」を事業の核としてきました。これを発展させ、より高精度で唯一無二の情報を、人手を介さず自動的に取得・活用していく。PUTは、そうした仕組みを通じて、より広い社会課題の解決をめざす考え方で



このビジョンを見据え、2024年度より5カ年の中期経営計画をスタートしました。本計画は、「利益回復期」と「成長投資再開期」の二段階で構成し、コアビジネスの増強、新たな収益基盤の確立、経営基盤の強化を重点領域としています。

中計の初年度となった2024年度は、連結売上高が1,548億円(前期比7.9%増)、営業利益が123億円(同18.9%増)、経常利益が111億円(同24.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が71億円(同100.6%増)となり、売上高および営業利益は過去最高を更新しました。

海外では、ベース事業がアジア・オセアニアでの販売好調と工場収益の改善、プライマリー専業がロシアでの高付加価値品販売により堅調でした。国内では、需要回復をとらえた販売活動が奏功、価格改定の定着や輸出粗利\*の改善も寄与しました。

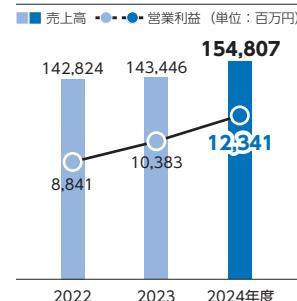
\*グループ内でのプリンター製品輸出により得られる利益

そのほか、主に以下のような取り組みが進展しました。

- 全社視点での組織運営の推進(事業本部制・会社統合への体制整備)
- 業界横断の仕組みづくりに寄与する、血液識別・資源循環など新領域での商談・協業の進展
- 日本事業における粗利・利益の回復と、営業評価の利益重視への転換
- 商品ラインアップ最適化に向けた商品ロードマップ見直しが概ね完了(バリューチェーン再設計、品質・コスト管理の徹底)
- グローバル大手顧客との取引深耕
- マテリアリティ(重要課題)の改訂と、2025年度の開示予定

2025年度からは、DX(デジタル・トランスフォーメーション)やITセキュリティ、ガバナンス、調達・管理の高度化、グローバルブランディングなど、グローバルに事業を展開していく上で不可欠な基盤構築による足場固めと次なる成長への投資の両輪により、確かな前進を遂げてまいります。

連結売上高および営業利益の推移



# 株 主 各 位

(証券コード：6287)  
(発送日) 2025年6月10日  
(電子提供措置開始日) 2025年6月4日  
東京都港区芝浦三丁目1番1号

株式会社サトー

代表取締役 小沼 宏行

## 第75回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素より格別のご支援・ご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当社第75回定時株主総会を下記のとおり開催致しますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

### 【当社ウェブサイト】

<https://www.sato.co.jp/about/ir/stockholder/shareholders/>



### 【株主総会資料 掲載ウェブサイト】

<https://d.sokai.jp/6287/teiji/>



### 【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

(上記の東証ウェブサイトへアクセスいただき、「銘柄名(会社名)」に「サトー」又は「コード」に当社証券コード「6287」を入力・検索し、「基本情報」[縦覧書類/PR情報]を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。)



敬具

記

1. 日 時	2025年6月25日（水曜日） 午前10時（受付開始午前9時）
2. 場 所	東京都港区芝浦三丁目1番21号 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 4階 TKPガーデンシティPREMIUM田町
3. 目的事項	報告事項 1 第75期（2024年4月1日から2025年3月31日まで） 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2 第75期（2024年4月1日から2025年3月31日まで） 計算書類報告の件 決議事項 第1号議案 剰余金処分の件 第2号議案 取締役8名選任の件 第3号議案 監査役1名選任の件 第4号議案 補欠監査役2名選任の件

以 上

- 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の各ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載いたします。
- 本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。

なお、当該書面は、法令及び当社定款第16条の規定に基づき、次に掲げる事項を除いております。

事業の経過および成果、主要な借入先、対処すべき課題、会社の現況、業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況、当社のコーポレートガバナンス、新株予約権等の運用状況、会計監査人の状況、剰余金の配当等の決定に関する方針、連結注記表、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、連結計算書類に係る会計監査報告、計算書類に係る会計監査報告、監査役会の監査報告

したが、当該書面に記載している事業報告、連結計算書類及び計算書類は、会計監査人が会計監査報告を、監査役が監査報告を作成するに際して監査をした対象書類の一部であります。

## 会場出席いただく場合



### 株主総会に出席する方法

開催日時 2025年6月25日(水曜日)  
午前10時(受付開始:午前9時)

本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙を会場受付に提出してください。

※当日ご出席の株主さまへのお土産のご用意はございません。

## 会場出席されない場合 (事前の議決権行使をお願いします)



### ライブ配信のご案内

配信日時  
2025年6月25日(水曜日)  
午前10時~株主総会終了時刻まで

ご視聴方法 アクセス方法については、次頁をご覧ください。

## ショールーム見学会(事前申込制)

受付期限 2025年6月23日(月曜日)  
23時59分まで

応募方法 事前申込制(抽選)となっておりますので、右のQRコードよりお申し込みください。



【お問い合わせ】 [grp-ir-information@sato-global.com](mailto:grp-ir-information@sato-global.com)

## 事前質問受付のご案内



受付期限 2025年6月17日(火曜日)  
午後5時30分入力完了分まで

受付方法 アクセス方法については、次頁をご覧ください。

## 株主総会にご出席されない方、ライブ配信を視聴される方は、 いずれかの方法で事前に議決権行使をお願いします。



### (書面) 郵送による議決権行使

行使期限 2025年6月24日(火曜日)  
午後5時45分到着分まで

本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に議案の賛否を表示のうえ、返送してください。

- 賛否の表示のない場合、「賛」の表示があったものとして取り扱います。
- 複数回にわたり行使された場合の議決権の取り扱い
  - (1) 書面とインターネットにより議決権を重複して行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱います。
  - (2) インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使の内容を有効として取り扱います。



### インターネットによる議決権行使

行使期限  
2025年6月24日(火曜日)  
午後5時45分まで

議案に対する賛否を入力してください。

#### お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(ヘルプデスク)  
電話番号: **0120-173-027**  
(受付時間 午前9時~午後9時、通話料無料)

#### QRコードを読み取る方法

- 1 議決権行使書用紙の右下に記載のQRコードを、スマートフォンかタブレット端末で読み取ります。



- 2 画面の案内のとおり、賛否を入力してください。

#### ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使サイトにアクセスし、お手元の議決権行使書用紙の右下に記載された「ログインID」と「仮パスワード」をご入力ください。

<https://evote.tr.mufg.jp/>



皆さまの議決権行使が「小児がんの子どもたちが安心して笑顔で生活できる社会の創造」に繋がります。

インターネットによる議決権行使をご利用いただくことにより削減される郵送費用お一人当たり85円をインターネットによる議決権行使をいただいた人数に応じてゴールドリボンに寄付させていただきます。是非積極的にご利用ください。

【寄付先】公益財団法人ゴールドリボン・ネットワーク



# ライブ配信および事前質問受付のご案内

「Engagement Portal」へアクセスをお願いいたします。



【株主総会オンラインサイト URL】  
<https://engagement-portal.tr.mufg.jp/>

※[QRコード]は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- ① 同封の「Engagement Portal」のご案内に記載のログインIDとパスワードをご入力
- ② 利用規約をご確認の上、「利用規約に同意する」にチェック
- ③ 「ログイン」ボタンをクリック



## ライブ配信のご案内

配信日時

**2025年6月25日（水曜日）午前10時～株主総会終了時刻まで**  
配信ページは、**午前9時30分頃より**アクセス可能となります。

ご視聴方法

「Engagement Portal」にログイン後、「当日ライブ視聴」ボタンをクリック。

※ライブ配信をご覧いただくことは、会社法上、株主総会への出席とは認められておりませんので、当日の決議に参加することはできません。事前に議決権行使をお済ませください。また、質問や動議を行うこともできませんのであらかじめご了承ください。

※ライブ配信をご覧いただけるのは株主さま本人のみに限定させていただきます。

※ライブ配信の写真撮影・録音・録画行為およびSNSなどでの無断公開は固くお断りします。

※ライブ配信を含む本株主総会の運営などに関して変更が生じる場合は、当社ウェブサイト（<https://www.sato.co.jp/about/ir/stockholder/shareholders/>）にてお知らせいたします。

※ご出席株主さまのプライバシーに配慮いたしますが、やむを得ずご出席株主さまが映り込んでしまう場合がございます。あらかじめご了承ください。



## 事前質問受付のご案内

受付期限

**2025年6月17日（火曜日）午後5時30分入力完了分まで**

受付方法

「Engagement Portal」にログイン後、「事前質問」ボタンをクリック。カテゴリを選択後、質問をご入力し送信してください。

※株主の皆さまのご関心の高い事項につきましては、本株主総会で取り上げさせていただき予定です。なお、個別のご回答は行いませんので、あらかじめご了承ください。

## 【株主さま専用サイトに関するお問い合わせ】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

**☎ 0120-676-808**（通話料無料／土日祝日を除く平日9：00～17：00）

## 第1号議案 剰余金処分の件

当社は、事業を通じて価値を創造し、得られた成果物を株主・社員・社会・会社に対する「四者還元」の考え方に基づき利益配分し、各ステークホルダーとの関係を強化するとともに、企業価値を向上させることをめざしております。現在まで長期にわたり累進配当<sup>(注)</sup>を実現しており、今後も継続していくことをめざしております。

これに基づき、第75期の期末配当金につきましては、以下のとおりと致したく存じます。

(注) 累進配当とは、原則として減配を行わず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策です。

配当財産の種類	金銭と致します。
配当財産の割り当てに関する事項およびその総額	当社普通株式1株当たり金 <b>38円</b> 配当総額 <b>1,238,985,972円</b>
剰余金の配当が効力を生じる日	2025年6月26日

この結果、中間配当金（1株当たり37円）を含めた年間配当金は1株当たり75円となり、前期の年間配当金から2円増配することとなります。

### 配当金の推移 (単位：円)



## 第2号議案 取締役8名選任の件

第74回定時株主総会で選任されました取締役8名は本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役8名の選任をお願いするものであります。

なお、取締役候補者の選任については、取締役会にて決定しております。取締役候補者は次のとおりであります。

候補者番号		氏名	当社における地位	取締役会出席状況
1	再任	小沼宏行	代表取締役 社長執行役員 グループCEO	13/13回 100%
2	再任	笹原美徳	取締役 上席執行役員 副社長	13/13回 100%
3	再任	鳴海達夫	取締役	13/13回 100%
4	再任 独立役員 社外取締役候補者	伊藤良二	取締役	13/13回 100%
5	再任 独立役員 社外取締役候補者	山田秀雄	取締役 取締役会議長	13/13回 100%
6	再任 独立役員 社外取締役候補者	藤重貞慶	取締役 指名・報酬諮問委員会委員長	13/13回 100%
7	再任 独立役員 社外取締役候補者	野々垣好子	取締役	13/13回 100%
8	再任 独立役員 社外取締役候補者	南雲浩	取締役	10/10回 100%

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別な利害関係はありません。
2. 当社は伊藤良二氏、山田秀雄氏、藤重貞慶氏、野々垣好子氏および南雲浩氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。
3. 当社は、取締役および監査役がその期待される役割を十分に発揮できるように、取締役および監査役を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者がその職務の執行に関し責任を負うことまたは当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を填補することとしています。また、各候補者の選任が承認された場合、当該保険契約の被保険者となります。なお、当社は、当該保険契約を任期中にて更新する予定であります。
4. 社外取締役および社外監査役がその期待される役割を十分に発揮できるように、現行定款において、会社法第427条第1項の規定により、社外取締役、社外監査役との間に同法第427条第1項の損害賠償責任を法令が定める最低責任限度額に限定する契約を締結できる旨を定めております。
- 上記の各社外取締役候補者が選任された場合、当社は候補者との間で上記と同内容の責任限定契約を継続または締結する予定であります。

<ご参考>

1. 取締役・監査役のスキルマトリックス

取締役会が備えるべきスキルと、各取締役・監査役のスキル対応関係について、下記3つの観点から取り纏めました。

<適切に経営・事業をリードするための知見・経験>

企業経営・組織運営 上場企業（子会社含む）の経営・役員としての経験  
もしくは公的且つ独立した組織の運営責任者としての経験

技術開発・イノベーション・DX 実務経験および専門性  
グローバルビジネス 海外駐在を含むグローバルビジネス経験

<適正な経営基盤を確立・維持するための知見・経験>

財務・会計 実務経験および専門性  
ガバナンス・リスク管理・コンプライアンス 実務経験および専門性  
人事労務・人財開発 実務経験および専門性

<持続性を担保するための多様性（専門分野・主な経験等）>

特記すべき専門分野・主な経験等

個々の取締役・監査役のスキルについては、バランス良く適切に配置しており、その一覧は下表のとおりとなります。

	氏名	現在の主な職務	適切に経営・事業をリードするための知見・経験			適正な経営基盤を確立・維持するための知見・経験			持続性を担保するための多様性（専門分野・主な経験等）
			企業経営 組織運営	技術開発 イノベーション DX	グローバル ビジネス	財務・会計	ガバナンス リスク管理 コンプライアンス	人事労務 人財開発	特記すべき 専門分野・主な経験等
取締役	小 沼 宏 行 <small>男性</small>	代表取締役 社長執行役員 グループEO 指名・報酬諮問委員会委員	●	●	●		●		国内・海外事業 (経営・営業・ヘルスケア)
	笹 原 美 徳 <small>男性</small>	取締役 上席執行役員 副社長	●	●					国内事業（営業・生産）
	鳴 海 達 夫 <small>男性</small>	取締役 指名・報酬諮問委員会委員	●					●	人事・労務／経営企画
	伊 藤 良 二 <small>男性</small>	社外取締役・独立役員 指名・報酬諮問委員会委員	●	●	●	●	●		経営コンサルティング／学術／IT
	山 田 秀 雄 <small>男性</small>	社外取締役・独立役員 取締役会議長	●				●	●	法務全般・リスクマネジメント
	藤 重 貞 慶 <small>男性</small>	社外取締役・独立役員 指名・報酬諮問委員会委員長	●	●	●		●	●	上場企業経営
	野々垣 好 子 <small>女性</small>	社外取締役・独立役員 指名・報酬諮問委員会委員	●		●		●	●	グローバル経営／マーケティング／ ダイバーシティ
	南 雲 浩 <small>男性</small>	社外取締役・独立役員 指名・報酬諮問委員会委員	●	●	●		●		グローバル経営／ヘルスケア
監査役	吉 井 清 彦 <small>男性</small>	常勤監査役			●	●	●		海外管理／財務・会計
	八 尾 紀 子 <small>女性</small>	社外監査役・独立役員			●		●	●	グローバル企業法務
	久 保 直 生 <small>男性</small>	社外監査役・独立役員				●	●		財務・会計／監査

※上記の一覧表は各氏の経験などを踏まえて、より専門性が発揮できる領域を記載しており、有する全ての知見を表すものではありません。

## 2. 取締役候補者等の選任と解任

当社は選任方針として、取締役会として適切な意思決定および経営の監督を行うために、社内外から豊富な経験と専門性、優れた人格識見を有し、取締役会がその機能を発揮するため積極的に貢献できる者を透明性のあるプロセスの中で候補者として選任しています。

2021年4月より取締役会の諮問委員会として指名諮問委員会を設置し、2024年6月より報酬諮問委員会と統合し、指名・報酬諮問委員会に改めました。同委員会は独立社外取締役が委員長となり、且つ委員の過半数となる構成としており、個別候補者の選任・解任案の策定にとどまらず、選任方針や基準・手続きの決定、サクセッションプランの検証・検討を含む取締役会の構成・運営全般に係わる検討を行い、取締役会に対して助言・提言を行います。

取締役の選任・解任は以下の基準に基づき判断しています。

### a. 社内取締役候補者

執行役員の内、以下の各要素を保有すると認定される者

- ・ 中長期視点での戦略的判断力（本質を見抜く力、論理的思考力、先見性、決断力）
- ・ 組織を纏め変革を促し完遂させるリーダーシップ（協働、変革、育成をリードし成果に繋げる力）
- ・ 自社および社会への高い倫理性と受託者精神（人格・識見、企業理念への共感、私心のなさ）
- ・ ベースとなる主体性と問題意識（市場、事業、自社資源、自らの資質向上）
- ・ 社業に関する十分な経験・知識と横溢な気力・体力（実績、健康）

尚、代表取締役等の候補者については、上記各要素における優れた資質に加え、卓越した実績・成果が求められます。

### b. 社外取締役候補者

経営、学識、法務、財務等、異なる専門分野を持つ多様性に留意しつつ、ガバナンス上、社外取締役が半数以上となる構成を目指しています。

- ・ 事案の本質を見抜き、経営に対して課題を厳しく指摘できる者
- ・ 弊社取締役会等への出席を優先できる者

### c. 選任・選定手続き

上記基準に基づき、取締役会の諮問に応じて、指名・報酬諮問委員会が協議して候補者案を作成、取締役会に対して助言・提言を行います。取締役会は、指名・報酬諮問委員会の候補者案を基に審議を行い、取締役候補の選任、または代表取締役および業務執行取締役の選定を行います。

### d. 解任・解職手続き

代表取締役等の役割遂行状況が、客観的な情報を含め上記選定基準に照らし著しく乖離すると判断される場合、取締役会の諮問に応じて、指名・報酬諮問委員会が協議して解任・解職案を作成、取締役会に対して助言・提言を行います。取締役会は、指名・報酬諮問委員会の解任・解職案に基づき合議の上、その役を解くことができることとしています。また、取締役が上記の選任基準の事項を充足しないと認められる場合、取締役会は次期株主総会に候補者として上程しないことを定めています。

候補者番号

1

こぬまひろゆき  
小沼宏行

再任



生年月日	1973年3月14日生
現在の当社における地位および担当	代表取締役 社長執行役員 グループCEO (在任年数 5年)
所有する当社の株式数	12,575株
取締役会出席状況	13回/13回 (100%)

取締役候補者とした理由

小沼氏は、ヘルスケア事業の要職を歴任し、2014年よりサトーヘルスケア株式会社の社長として同事業の成長を大きく推進しました。2019年からは株式会社サトー（当時）の代表取締役社長に就任し、国内外の事業を牽引してまいりました。2020年に当社の取締役に就任後は、主に国内事業を担当し、市場・業界・用途別の顧客課題解決ノウハウの確立など、事業推進のための強いリーダーシップを発揮されました。2023年4月より当社代表取締役社長執行役員グループCEOとして、その豊富な経験と知見を生かし、経営の指揮および監督を適切に行っております。当社が事業成長とグローバル化を加速し、顧客価値の最大化を追求して事業経営を推進していくにあたり、取締役として適任と判断したため、同氏を引き続き取締役候補者いたしました。

略歴、当社における地位および担当（重要な兼職の状況）

2000年7月	当社入社	2020年4月	当社上席執行役員 株式会社サトー（当時）代表取締役社長兼海外事業担当
2010年4月	当社国内営業本部東京事業本部メディカル事業部長	2020年6月	当社取締役 上席執行役員 株式会社サトー（当時）代表取締役社長兼海外事業担当
2013年4月	株式会社サトーヘルスケアカンパニーカンパニープレジデント	2021年4月	当社取締役 上席執行役員 国内事業担当 株式会社サトー（当時）代表取締役社長
2014年4月	サトーヘルスケア株式会社代表取締役社長	2023年4月	当社代表取締役 社長執行役員 グループCEO（現任）
2015年7月	当社執行役員 最高健康経営責任者		
2019年4月	当社上席執行役員 株式会社サトー（当時）代表取締役社長兼RFID事業統括		

候補者より、株主の皆さまへ

日頃からのサトーグループに対するご支援に心より感謝申し上げます。  
2023年4月より経営全体を担当しており、これまでのホールディングス体制から組織体制を見直す形で子会社を吸収合併し、2025年4月からは新生・株式会社サトーがスタートいたしました。  
当社のタギング技術は世界中の皆さまの個社の現場課題解決にとどまることなく、業界課題の解決、更にはグローバルでの社会課題の解決にまで拡がってきています。  
自社のみならず他社とも共創することで新たな技術も積極的に取り込み、お客さまへ提供するソリューションを高度化し、中期経営計画の着実な実行と企業価値向上に尽力してまいります。

候補者番号

2

ささ はら よし のり  
笹 原 美 徳

再 任

生年月日	1965年3月5日生
現在の当社における地位および担当	取締役 上席執行役員 副社長 (在任年数 2年)
所有する当社の株式数	16,821株
取締役会出席状況	13回/13回 (100%)



### 取締役候補者とした理由

笹原氏は、当社の国内営業会社にて、営業部門や製造部門の責任者として強いリーダーシップを発揮し、2012年より当社の執行役員、2019年からは上席執行役員として、お客さまの現場に深く入り込み課題を解決する「現場力」を強みに国内事業を牽引してまいりました。

2023年4月より、株式会社サトー（当時）の代表取締役社長に就任し、開発・製造・営業活動等の統括を担当しております。これらのことから当社がグローバルで持続可能な事業経営を推進していくにあたり、取締役として適任と判断したため、同氏を引き続き取締役候補者といたしました。

### 略歴、当社における地位および担当（重要な兼職の状況）

1987年4月	当社入社	2022年4月	当社上席執行役員 最高健康経営責任者 株式会社サトー（当時）副社長
2005年10月	当社営業本部八王子支店支店長		兼モノづくり本部長兼RFID事業本部長
2010年4月	当社国内営業本部東京事業本部FA事業部長	2023年4月	当社上席執行役員 国内事業統括・業務IT担当 株式会社サトー（当時）代表取締役社長
2012年7月	当社執行役員 株式会社サトー（当時）国内 営業本部東京事業統括長	2023年6月	当社取締役 株式会社サトー（当時）代表取締役社長
2014年4月	当社執行役員 株式会社サトー（当時）営業ユニット長	2025年4月	当社取締役 上席執行役員 副社長（現任）
2016年4月	当社執行役員 株式会社サトー（当時）副社長		
2019年4月	当社上席執行役員 最高健康経営責任者 株式会社サトー（当時）副社長兼生産本部長		

### 候補者より、株主の皆さまへ

平素よりサトーグループへのご高配を賜り厚く感謝申し上げます。

統合により株式会社サトーとして新たなスタートを切りました。外部環境の変化が加速するなかで、経営課題であるガバナンス・DX・ESG経営に加え、重点領域であるRFID事業の成長を目指し、グローバルな視点で企業価値の向上と持続的な成長に取り組んでまいります。

候補者番号

3

なる み たつ お  
鳴 海 達 夫

再任



生年月日	1952年2月24日生
現在の当社における地位および担当	取締役（在任年数 17年）
所有する当社の株式数	25,246株
取締役会出席状況	13回／13回（100%）

取締役候補者とした理由

鳴海氏は、当社の経営企画部門の総責任者として、その間執行役員を6年間務めました。2008年から当社取締役に就任、2009年からは社内非業務執行取締役として、経営課題の整理と取締役会への適切な上程をリードしてまいりました。また、この間、取締役会議長や経営会議議長を務め、社外取締役と協力して経営への監督機能を担ってきております。経営基盤およびガバナンス体制の強化に強いリーダーシップを発揮していることから、当社が事業成長とグローバル化を加速し、顧客価値の最大化を追求して事業経営を推進していくにあたり、取締役として適任と判断したため、同氏を引き続き取締役候補者といたしました。

略歴、当社における地位および担当（重要な兼職の状況）

2000年 8月	当社入社秘書室部長	2007年 7月	当社専務執行役員 経営企画本部長
2001年 4月	当社管理本部人事部長	2008年 6月	当社取締役 専務執行役員 経営企画本部長
2003年 6月	当社執行役員 経営企画本部企画部長	2009年 7月	当社取締役（現任）
2005年10月	当社執行役員 経営企画本部長兼企画部長	2020年 1月	当社取締役会議長
2006年 1月	当社常務執行役員 経営企画本部長	2021年 4月	当社経営会議議長

候補者より、株主の皆さまへ

株主の皆さまを始めとするステークホルダーの負託にお応えするために、社内非業務執行取締役として、社内における執行部の意思決定について、その内容とプロセスの妥当性を検証し意見するとともに、様々な知見をお持ちの社外取締役の皆さまと協力し、取締役会のスーパーバイザーボードとしての機能発揮に役立つべく努めてまいりました。また、創業者が掲げた「企業は公器」という役割をしっかりと担い続けられるよう、社是である「あくなき創造」に基づく「三行提報」を活用した現場主義の改善活動と成果の社内共有を推進し、より主体的で高い視座を持つ強靱な企業体質の確立に取り組み、持続的な成長に少しでも寄与するよう努めてまいります。

候補者番号

4

いとうりょうじ  
伊藤良二

再任

社外

独立

生年月日	1952年1月14日生
現在の当社における地位および担当	取締役 (在任年数 11年)
所有する当社の株式数	4,302株
取締役会出席状況	13回/13回 (100%)



### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

伊藤氏は、会社経営者および大学院教授としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。取締役会の審議においては、当社の経営における重要な事項に関し、これらの経験と見識を生かし、ガバナンス体制の強化を意識した積極的な意見・提言をいただいております。また、2021年4月より任意の指名・報酬諮問委員会の委員として、多角的な面から積極にご助言をいただいております。これらのことから当社のグローバルで持続可能な事業経営を推進していくにあたり、的確なアドバイスを行っていただくことが期待されるため、同氏を引き続き社外取締役候補者としていたしました。

### 略歴、当社における地位および担当（重要な兼職の状況）

1979年 7月	マッキンゼー・アンド・カンパニー入社	2012年 5月	株式会社レナウン社外取締役
1984年 1月	同社パートナー	2013年 1月	エルソルビジネスアドバイザーズ株式会社 代表取締役
1988年 6月	UCC上島珈琲株式会社商品開発担当取締役	2014年 6月	当社取締役 (現任)
1990年 9月	シュローダー・ベンチャーズ代表取締役	2014年 6月	H. U. グループホールディングス株式会社 社外取締役 (現任)
2000年 5月	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科特任教授	2020年 4月	慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師
2001年 1月	ベイン・アンド・カンパニー日本支社長	2021年 4月	慶應義塾大学SFC研究所上席所員
2006年 4月	株式会社プラネットプラン代表取締役 (現任)		
2008年 6月	当社取締役		

### 候補者より、株主の皆さまへ

グローバルにDX化が進行・加速化する中で、情報の社会的価値は今後さらに増していくものと思います。そのような環境下で、モノの動きの情報化を担うサトーグループの社会的使命はますます重要になってまいります。この存在価値を正しく世の中に広め、グローバル社会の発展に資するとともに、それを着実に株主価値創造につなげていくべく、社外の立場からガバナンス体制の維持・強化に努め、戦略的な視点をもって、サトーグループのさらなる成長のために、引き続き尽力してまいります。

候補者番号

5

やま だ ひで お  
山 田 秀 雄

再任

社外

独立



生年月日	1952年1月23日生
現在の当社における地位および担当	取締役・取締役会議長 (在任年数 10年)
所有する当社の株式数	3,662株
取締役会出席状況	13回/13回 (100%)

社外取締役候補者とした理由および期待される役割

山田氏は、弁護士としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。取締役会の審議においては、当社の経営における重要な事項に関し、これらの経験と見識を生かし、ステークホルダーの期待に応えるという視点をもって積極的な意見・提言をいただいております。また、2021年4月より取締役会議長に就任し、経営に対する監督の実効性確保に努めております。これらのことから当社のグローバルで持続可能な事業経営を推進していくにあたり、的確なアドバイスを行っていただくことが期待されるため、同氏を引き続き社外取締役候補者といたしました。なお、同氏は、社外取締役になること以外の方法で会社の経営に関与したことはありませんが、上記の理由により社外取締役としての職務を適切に遂行することができるものと判断しております。

略歴、当社における地位および担当 (重要な兼職の状況)

1984年 3月	最高裁判所司法研修所修了	2010年 4月	日本弁護士連合会常務理事
1984年 4月	弁護士登録 (第二東京弁護士会)	2014年 4月	日本弁護士連合会副会長
1992年10月	山田秀雄法律事務所 (現山田・尾崎法律事務所) 所長 (現任)	2014年 4月	第二東京弁護士会会長
1998年 5月	大洋化学工業株式会社社外監査役 (現任)	2015年 6月	当社取締役 (現任)
2004年 6月	当社取締役	2015年 6月	公益財団法人橘秋子記念財団理事長 (現任)
2006年 3月	ライオン株式会社社外取締役	2016年 6月	株式会社ミクニ社外取締役 (現任)
2007年 6月	石井食品株式会社社外監査役	2021年 4月	当社取締役会議長 (現任)
2007年 6月	株式会社ミクニ社外監査役	2023年 6月	吉本興業ホールディングス株式会社社外取締役 (現任)
2009年 3月	ヒューリック株式会社社外取締役 (現任)		

候補者より、株主の皆さまへ

日本と日本の企業を取り巻く環境は、令和の時代に入り、非常に厳しいものとなってきました。グローバルな視点にたつと、予測不能な国際情勢、戦争によるカントリーリスク、関税負担による経済損失、国内に目を向けると、ガバナンス、コンプライアンス不全による企業不祥事の多発、環境、多様性、人権とデューデリジェンス等々、単純に営利追求のみに奔走することが許されない複雑な企業経営のハンドリングは、困難を極めています。そうした経営状況のなか、社外取締役として、株主や取引先としての目線を、さらには世間の目線を十分、勘案しながら、積極的に質問を行い、意見を述べていきたいと考えています。

候補者番号

6

ふじ しげ さだ よし  
藤 重 貞 慶

再任

社外

独立

生年月日	1947年1月1日生
現在の当社における地位および担当	取締役・指名・報酬諮問委員会委員長 (在任年数 5年)
所有する当社の株式数	6,010株
取締役会出席状況	13回/13回 (100%)



### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

藤重氏は、会社経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。マーケティングや商品企画に長年携わり、いち早く環境に配慮した製品を開発される等、社会の中における企業のあり方や環境問題に関する深い造詣も有しております。また、2021年4月より任意の報酬諮問委員会委員長（現・指名・報酬諮問委員会委員長）に就任し、同委員会を牽引し、強いリーダーシップを発揮しております。これらのことから当社のグローバルで持続可能な事業経営を推進していくにあたり、的確なアドバイスを行っていただくことが期待されるため、同氏を引き続き社外取締役候補者といたしました。

### 略歴、当社における地位および担当（重要な兼職の状況）

2004年 3月	ライオン株式会社代表取締役社長	2020年 6月	当社取締役（現任）
2012年 1月	ライオン株式会社代表取締役会長	2020年 6月	日東紡績株式会社社外取締役（現任）
2012年 4月	昭和西川株式会社社外取締役	2021年 3月	ライオン株式会社特別顧問（現任）
2014年 6月	公益財団法人日本卓球協会会長	2021年 4月	当社報酬諮問委員会委員長
2016年 3月	ライオン株式会社相談役	2021年 6月	株式会社テレビ朝日ホールディングス社外取締役（現任）
2016年 6月	公益社団法人ACジャパン理事長	2021年 6月	株式会社テレビ朝日社外監査役（現任）
2019年 5月	公益社団法人日本マーケティング協会会長（現任）	2024年 6月	当社指名・報酬諮問委員会委員長（現任）

### 候補者より、株主の皆さまへ

企業は現場力でもっています。優れた現場力が企業の強みとなり、持続的発展の決め手になると思います。そしてこれからはいろいろな企業の現場が有機的に繋がっていくことが新しいビジネス価値を生み出し、社会全体の生産性向上をもたらすと思います。

株式会社サトーは、その大切な現場の課題を解決し、現場力を高め、新しいビジネス価値を創造するための商品・サービスを提供しています。

社外取締役として、微力ながら、サトーグループが社会の発展のために貢献できますよう尽力してまいります。

候補者番号

7

の の が き よ し こ  
野々垣 好 子

再任

社外

独立



生年月日	1957年7月31日生
現在の当社における地位および担当	取締役 (在任年数 4年)
所有する当社の株式数	600株
取締役会出席状況	13回/13回 (100%)

### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

野々垣氏は、事業会社における業務経験や海外子会社における経営経験に加え、他社での社外取締役としての豊富なご経験から経営全般を監督するための幅広い識見を有しております。また、2021年6月より任意の報酬諮問委員会（現・指名・報酬諮問委員会）の委員として、多角的な面から積極的にご助言をいただいております。これらの経験と識見および中立的かつ客観的な視点から、当社取締役会としての業務執行に対する監督機能を発揮いただけることが期待されるため、同氏を引き続き社外取締役候補者いたしました。

### 略歴、当社における地位および担当（重要な兼職の状況）

1980年 4月	ソニー株式会社（※現ソニーグループ株式会社）入社	2009年 4月	同社ビジネス&プロフェッショナル事業本部 企画マーケティング部門部門長
1992年 9月	ソニーポーランド代表取締役社長	2013年 4月	同社人事本部グローバルダイバーシティ ディレクター
1994年 7月	ソニー株式会社記録メディア&エナジー事業本部 販社統括部長	2019年 6月	株式会社二フコ社外取締役（現任）
1999年 4月	同社パーソナルITネットワーク事業本部 企画マーケティング統括部長	2020年 6月	株式会社ジー・エス・ユアサ コーポレーション社外取締役（現任）
2006年 4月	同社ビジネス&プロフェッショナル事業本部 事業企画統括部長	2021年 6月	当社取締役（現任）

### 候補者より、株主の皆さまへ

自動認識技術と「現場力」に裏付けられた価値創造で発展してきた株式会社サトーの社外取締役候補に選任されましたことを光栄に存じます。気候変動やAIの実用化など世界を取り巻く環境は変化しておりますが、社である「あくなき創造」で持続可能な社会への解決策を生み出していくことが、更なる成長への礎かと考えます。自らの経験も含め、健全で持続的な企業価値の向上に尽力してまいります。

候補者番号

8

な ぐも  
南 雲

ひろし  
浩

再 任

社 外

独 立

生年月日	1962年7月26日生
現在の当社における地位および担当	取締役 (在任年数 1年)
所有する当社の株式数	363株
取締役会出席状況	10回/10回 (100%)



### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

南雲氏は、製造業において国内外で豊富なビジネス経験を有しております。海外事業会社社長と本社での経営役員も経験しており、当社でも注力分野であるヘルスケア業界にも精通しております。これらのことから当社のグローバルで持続可能な事業経営を推進していくにあたり、取締役として適任と判断したため、同氏を引き続き社外取締役候補者といたしました。

### 略歴、当社における地位および担当（重要な兼職の状況）

1985年 4月	テルモ株式会社入社	2022年 4月	テルモ株式会社経営役員 米州地域統轄 テルモアメリカホールディングス社長兼CEO
2012年 4月	テルモBCT株式会社代表取締役社長	2023年 4月	テルモ株式会社アドバイザー（現任）
2012年 6月	テルモ株式会社執行役員 兼テルモBCT株式会社代表取締役社長	2024年 6月	当社取締役（現任）
2020年 4月	テルモ株式会社執行役員 米州地域統轄 テルモアメリカホールディングス社長兼CEO		

### 候補者より、株主の皆さまへ

グローバル化が急速に進み、AIなどデジタル技術の進展により我々の生活に様々な変化がもたらされています。このような社会環境において、サトーのヒトやモノの情報を「みえる化」する自動認識技術は、私たちの生活を豊かにし、暮らしに安全と安心を提供する必要不可欠な技術として、ますますその価値が高まっていくものと考えます。これまでの経験を活かし、グローバルな視点をもって、サトーグループの企業価値の向上と持続的な成長に貢献できるよう引き続き尽力してまいります。

## 第3号議案 監査役1名選任の件

本総会終結の時をもって、監査役久保直生氏は任期満了となりますので、引き続き久保氏の再任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。監査役候補者は次のとおりであります。

く ぼ なお き  
久 保 直 生

再 任

社 外

独 立



生年月日	1956年7月7日生
現在の当社における地位	監査役 (在任年数 4年)
所有する当社の株式数	1,078株
取締役会出席状況	13回/13回 (100%)
監査役会出席状況	14回/14回 (100%)

### 社外監査役候補者とした理由

久保氏は、公認会計士・税理士として培われた専門的な知識・経験を有しております。同氏は過去に社外取締役または社外監査役となること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、当社のグローバルで持続可能な事業経営を推進していくにあたり、客観的かつ公正な立場で取締役の職務執行の監査に尽力いただけると判断し、社外監査役候補者としていたしました。

### 略歴、当社における地位 (重要な兼職の状況)

1980年10月	監査法人中央会計事務所 (後のみずぎ監査法人) 入所	2019年 6月	有限責任あずさ監査法人パートナー退任
1984年 3月	公認会計士登録	2019年 6月	日本公認会計士協会東京会幹事
1999年 4月	同社員	2019年 7月	久保公認会計士事務所開設 (現在に至る)
2004年 5月	同代表社員	2019年12月	株式会社ビューティーシェアリングテクノロジーズ社外取締役
2005年 9月	税理士登録	2021年 6月	当社監査役 (現任)
2007年 7月	みずぎ監査法人退所	2021年 6月	日本土地家屋調査士会連合会監事 (現任)
2007年 8月	あずさ監査法人 (現有限責任あずさ監査法人) 入所	2022年 4月	公益財団法人日韓文化交流基金監事 (現任)
	同社員 (現パートナー) 就任	2023年 6月	公益財団法人日本デザイン振興会監事 (現任)
2016年 6月	日本公認会計士協会東京会副会長	2024年11月	公益社団法人日本フェンシング協会監事 (現任)

### 候補者より、株主の皆さまへ

サトーグループは、2025年4月に持株会社と主要事業会社を統合し、組織体制の最適化により迅速な意思決定や経営資源の選択と集中を実現することとしています。さらには、ESG経営の推進、人的資本の有効活用及びガバナンスの一層の強化を打ち出しています。

そのため、従来以上に資本コストを意識した経営が求められる中、私はこれまでの公認会計士としての経験及び専門的知識を生かし、社外監査役という独立した立場から、開示の適切性のみならず、グループ全体のコンプライアンス、ガバナンスの観点から適切に監査業務を行ってまいります。

また、サステナビリティに関する情報開示が重要性を増してくる中、その制度の整備についても注視していきたいと考えています。

サトーグループが、株主の皆様、社会にとっての企業価値が向上するよう、社外監査役として尽力してまいります。

- (注) 1. 候補者と当社との間には特別な利害関係はありません。  
 2. 当社は同氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。  
 3. 当社は、取締役および監査役がその期待される役割を十分に発揮できるように、取締役および監査役を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者とその職務の執行に関し責任を負うことまたは当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を填補することとしています。本議案が承認された場合、同氏は当該保険契約の被保険者となります。なお当社は当該保険契約を任期途中にて更新する予定であります。  
 4. 社外取締役および社外監査役がその期待される役割を十分に発揮できるように、現行定款において、会社法第427条第1項の規定により、社外取締役、社外監査役との間に同法第427条第1項の損害賠償責任を法令が定める最低責任限度額に限定する契約を締結できる旨を定めております。上記の社外監査役候補者が選任された場合、当社は候補者との間で上記と同内容の責任限定契約を締結する予定であります。  
 5. 会計監査人である有限責任あずさ監査法人の出身であるが、パートナー退任後5年以上が経過しております。

## 第4号議案 補欠監査役2名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、予め補欠監査役2名の選任をお願いするものであり、その補欠監査役候補者は次のとおりであります。

また、現在の補欠監査役選任の効力は本総会開始の時までとなっており、候補者の清原義文氏は、社外監査役以外の補欠監査役としての候補者であり、候補者の唐下雪氏は、社外監査役の補欠社外監査役としての候補者であります。なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

候補者番号

1

きよ はら よし ぶみ  
清 原 義 文



生年月日 1961年3月15日生  
所有する当社の株式数 9,157株

### 補欠監査役候補者とした理由

清原氏は、株式会社サトーの国内営業・業務管理を長く経験し、業務分野における深い知見を有しており、2014年4月に国内監査部門の責任者に就任してから現在までその役割を適切に果たしております。以上のことから、当社取締役の職務執行を監査する人財として適任と判断し、補欠監査役候補といたしました。

### 略歴、当社における地位および担当（重要な兼職の状況）

1986年9月	当社入社	2014年4月	当社監査室長
2006年7月	当社執行役員 営業本部TC推進部長	2020年4月	当社国内監査部長
2011年10月	当社常務執行役員 サトーロジスティクス株式会社社長	2024年4月	当社内部監査部長（現任）

候補者番号

2

とう げ ゆき え  
唐 下 雪 絵

社 外 独 立



生年月日 1966年12月22日生  
所有する当社の株式数 0株

### 補欠社外監査役候補者とした理由

唐下氏は公認会計士及びシステムコンサルタントとして、長年に亘って企業や官庁の経営支援や監督を行っており、監査役一般としての経験・専門性だけでなくIT及びシステム関連のスキルもお持ちの為、将来的な社外監査役候補者として今回補欠社外監査役候補者としていたしました。当社は同氏が選任され社外監査役に就任した場合には、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出る予定です。

### 略歴、当社における地位および担当（重要な兼職の状況）

1999年5月	公認会計士登録	2019年3月	マブチモーター株式会社社外取締役（監査等委員）
2003年2月	公認会計士唐下雪給事務所所長（現任）	2019年6月	株式会社セブン銀行社外監査役
2007年6月	フェリーチェコンサルティング株式会社代表取締役（現任）	2022年8月	日本国土開発株式会社社外取締役（現任）

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別な利害関係はありません。  
2. 当社は、取締役および監査役がその期待される役割を十分に発揮できるように、取締役および監査役を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者がその職務の執行に関し責任を負うことまたは当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を填補することとしています。清原義文氏および唐下雪給氏が監査役に就任した場合、当該保険契約の被保険者となります。なお当社は当該保険契約を任期途中にて更新する予定であります。  
3. 社外取締役および社外監査役がその期待される役割を十分に発揮できるように、現行定款において、会社法第427条第1項の規定により、社外取締役、社外監査役との間に同法第427条第1項の損害賠償責任を法令が定める最低責任限度額に限定する契約を締結できる旨を定めております。唐下雪給氏が監査役に就任された場合、当社は候補者との間で上記と同内容の責任限定契約を締結する予定であります。

以 上

## I サトーグループの現況

## 1. 財産および損益の推移

		第72期 (2022年3月期)	第73期 (2023年3月期)	第74期 (2024年3月期)	第75期 (当連結会計年度) (2025年3月期)
売上高	(百万円)	124,783	142,824	143,446	<b>154,807</b>
営業利益	(百万円)	6,404	8,841	10,383	<b>12,341</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	3,794	4,184	3,565	<b>7,151</b>
1株当たり当期純利益	(円)	112.74	126.66	110.02	<b>220.39</b>
総資産	(百万円)	120,005	122,858	132,457	<b>139,757</b>
純資産	(百万円)	64,508	67,694	74,085	<b>80,237</b>
1株当たり純資産額	(円)	1,874.97	2,020.83	2,199.41	<b>2,357.76</b>

## 売上高

(単位：百万円)



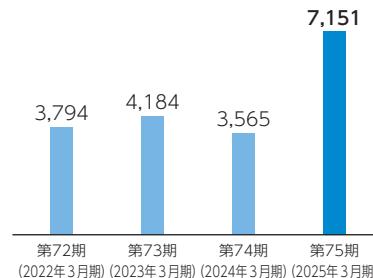
## 営業利益

(単位：百万円)



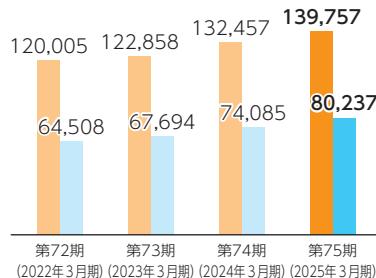
## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



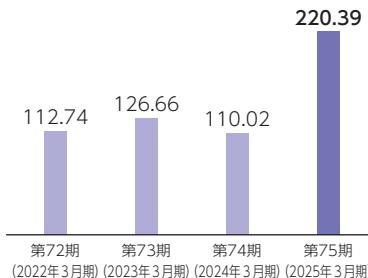
## 総資産/純資産

(単位：百万円)



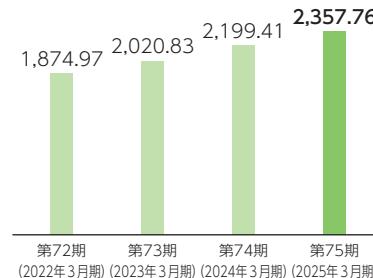
## 1株当たり当期純利益

(単位：円)



## 1株当たり純資産額

(単位：円)



## 2. 設備投資および資金調達の状況

### ① 設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資総額は7,959百万円となりました。その主なものは、工場設備、印刷機、電子プリンタ用金型、検査・測定機器など製造・開発に係る設備ならびに、販売用および業務用ソフトに係るものであります。

### ② 資金調達の状況

当社グループは、2025年3月31日現在で総額14,196百万円の借入を行っており、その主なものは、株式会社三菱UFJ銀行からの9,665百万円、株式会社三井住友銀行からの3,590百万円、株式会社みずほ銀行からの500百万円であります。

## 3. 主要な事業内容 (2025年3月31日現在)

当社グループの主要な事業内容は、次の製品の製造、販売であります。

事業内容	主要製品
メカトロ製品事業	電子プリンタ ラベリングロボット オートラベラー 一段型ハンドラベラー 多段型ハンドラベラー ソフトウェア 保守サービス
サブライ製品事業	ICタグ・ラベル シール ラベル タグ チケット リボン MCカード インク

## 4. 主要な事業所 (2025年3月31日現在)

当社 本社 東京都港区芝浦三丁目1番1号

株式会社サトー

支社・支店・営業所 31拠点 サポートセンター 41拠点

メンテナンスセンター 8拠点

北海道：札幌支店（札幌市東区）

東北：仙台支店（仙台市泉区）

関東：東京支社（東京都港区）神奈川支店（横浜市港北区）大宮支店（さいたま市大宮区）千葉支店（千葉市若葉区）北関東支店（栃木県佐野市）茨城支店（茨城県水戸市）八王子支店（東京都八王子市）東日本物流センター（埼玉県加須市）

中部：名古屋支社（名古屋市西区）静岡支店（静岡市駿河区）金沢支店（石川県金沢市）

近畿：関西支社（大阪府吹田市）京都支店（京都市伏見区）兵庫支店（兵庫県明石市）西日本物流センター（奈良県大和郡山市）

中国・四国：広島支店（広島市安佐南区）高松支店（香川県高松市）

九州：九州支社（福岡市東区）

サトーヘルスケア株式会社 9拠点

東京営業（東京都港区）関西営業（大阪府吹田市）東海営業（名古屋市西区）

米州

SATO AMERICA, LLC.

ACHERNAR S.A.

PRAKOLAR RÓTULOS AUTOADESIVOS LTDA.

欧州

SATO EUROPE GmbH

SATO UK LTD.

OKIL-HOLDING, JSC.

アジア・オセアニア

ARGOX INFORMATION CO., LTD.

SATO SHANGHAI CO., LTD.

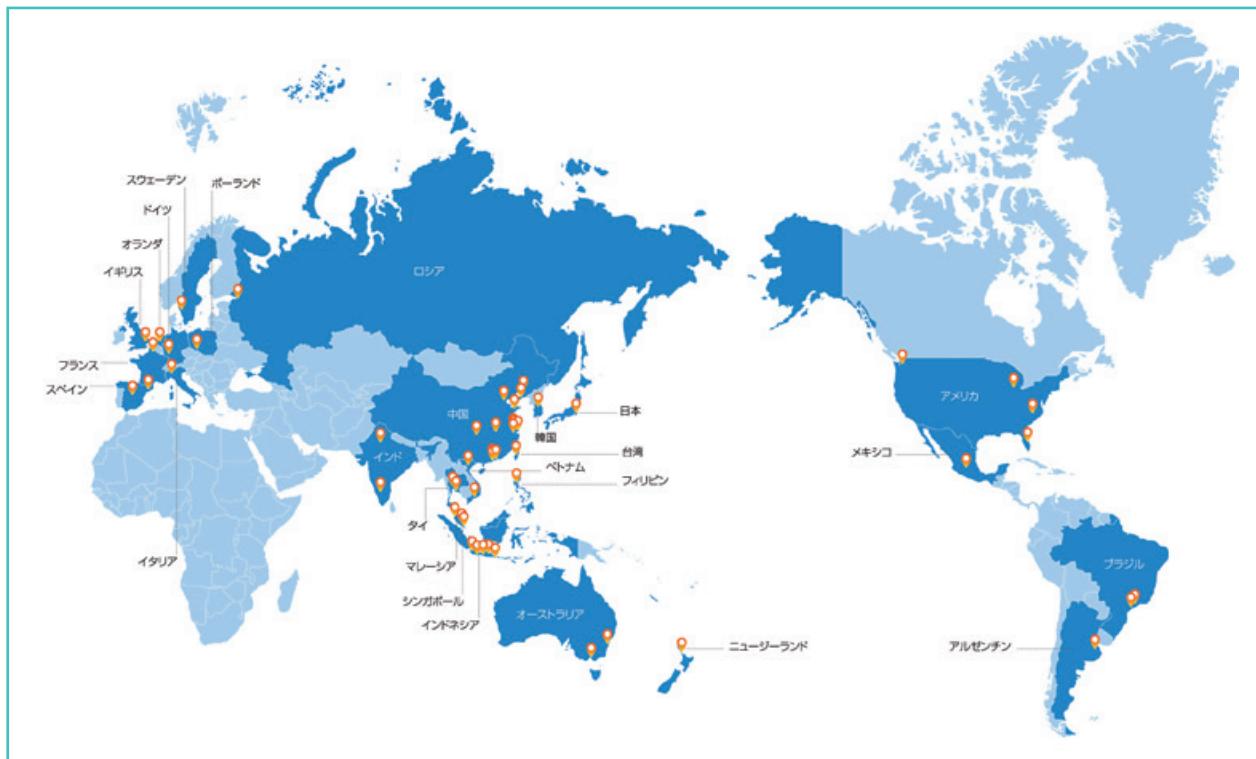
SATO ASIA PACIFIC PTE. LTD.

SATO AUTO-ID (THAILAND) CO., LTD.

SATO MALAYSIA ELECTRONICS MANUFACTURING SDN. BHD.

SATO VIETNAM CO., LTD.

## サトーグループの主な拠点



## 5. 使用人の状況 (2025年3月31日現在)

### ① 企業集団の使用人の状況

事業セグメント	使用人数	前期末比増減
自動認識ソリューション事業 (日本)	2,062名	33名増
自動認識ソリューション事業 (海外)	3,924名	209名増
合 計	5,986名	242名増

### ② 当社の使用人の状況

使用人数	177名
前期末比増減	104名減
平均年齢	45.3歳
平均勤続年数	13.7年

(注) 1. 使用人数は就業人員であります。子会社等への出向者および当社から社外への出向者を含めず、社外から当社への出向者を含めて記載しております。

2. 2007年4月より満65歳定年制を採用しております。

## 6. 重要な子会社の状況 (2025年3月31日現在)

会社名	資本金	出資比率(%)	主要な事業内容
株式会社サトー	百万円 4,000	100	メカトロ製品販売、サプライ製品販売
サトーヘルスケア株式会社	百万円 50	100	医療分野におけるソリューションの企画・提案ならびにメカトロ製品販売、サプライ製品販売
SATO AMERICA, LLC.	米ドル 11,201,000	100	サプライ製品製造販売、メカトロ製品販売
ACHERNAR S.A.	ペソ 81,756,001.86	100	サプライ製品製造販売（プライマリーラベル）
PRAKOLAR RÓTULOS AUTOADESIVOS LTDA.	レアル 16,499,818	100	サプライ製品製造販売（プライマリーラベル）
SATO EUROPE GmbH	ユーロ 27,620,500	100	サプライ製品販売、メカトロ製品販売
OKIL-HOLDING, JSC.	ルーブル 150,433	75	サプライ製品製造販売（プライマリーラベル）
SATO FRANCE S. A. S.	ユーロ 1,443,120	100	サプライ製品製造販売、メカトロ製品販売
SATO UK LTD.	英ポンド 40,701,500	100	サプライ製品製造販売、メカトロ製品販売
ARGOX INFORMATION CO., LTD.	台湾ドル 480,000,000	100	メカトロ製品販売
SATO AUTO-ID (THAILAND) CO., LTD.	タイバーツ 58,000,000	100	サプライ製品製造販売、メカトロ製品販売
SATO ASIA PACIFIC PTE. LTD.	シンガポールドル 8,150,000	100	サプライ製品製造販売、メカトロ製品販売
SATO SHANGHAI CO., LTD.	中国元 10,345,935	100	サプライ製品販売、メカトロ製品販売
SATO AUSTRALIA PTY LTD.	オーストラリア・ドル 4,884,002	100	サプライ製品製造販売、メカトロ製品販売
SATO NEW ZEALAND LTD.	ニュージーランド・ドル 15,500,000	100	サプライ製品製造販売、メカトロ製品販売
SATO MALAYSIA ELECTRONICS MANUFACTURING SDN. BHD.	マレーシアリンギット 71,500,000	100	メカトロ製品製造
SATO VIETNAM CO., LTD.	米ドル 12,000,000	100	メカトロ製品製造

- (注) 1. 連結子会社は、上記の重要な子会社17社を含め50社であります。  
2. 当社は2025年4月1日付にて、株式会社サトーを吸収合併いたしました。

## II 会社役員に関する事項

### 1. 会社役員に関する事項

#### (1) 会社役員の様況

2025年3月31日現在の取締役および監査役の様況は次のとおりであります。

##### 取締役

氏名	地位	担当・重要な兼職（兼職する法人等）および当社と当該他法人等との関係	その他
小沼宏行	代表取締役	社長執行役員 グループCEO	
笹原美德	取締役	上席執行役員国内事業統括・業務IT担当 株式会社サトー代表取締役社長	
鳴海達夫	取締役	—	
伊藤良二	■社外取締役 ■独立役員	業務執行者としての兼職状況	株式会社プラネットプラン代表取締役
		他法人等の社外役員の兼職状況	H. U. グループホールディングス株式会社社外取締役
山田秀雄	■社外取締役 ■独立役員	業務執行者としての兼職状況	山田・尾崎法律事務所所長 公益財団法人橘秋子記念財団理事長
		他法人等の社外役員の兼職状況	太洋化学工業株式会社社外監査役 ヒューリック株式会社社外取締役 株式会社ミクニ社外取締役 吉本興業ホールディングス株式会社社外取締役
藤重貞慶	■社外取締役 ■独立役員	業務執行者としての兼職状況	ライオン株式会社特別顧問 公益社団法人日本マーケティング協会会長
		他法人等の社外役員の兼職状況	日東紡績株式会社社外取締役 株式会社テレビ朝日ホールディングス社外取締役 株式会社テレビ朝日社外監査役
野々垣好子	■社外取締役 ■独立役員	業務執行者としての兼職状況	—
		他法人等の社外役員の兼職状況	株式会社ニフコ社外取締役 株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション社外取締役
南雲浩	■社外取締役 ■独立役員	業務執行者としての兼職状況	テルモ株式会社アドバイザー
		他法人等の社外役員の兼職状況	—

## 監査役

氏名	地位	担当・重要な兼職（兼職する法人等）および当社と当該他法人等との関係	その他
吉井清彦	常勤監査役	—	
八尾紀子	<span style="color: blue;">■</span> 社外監査役 <span style="color: purple;">■</span> 独立役員	業務執行者としての兼職状況	TMI総合法律事務所パートナー
		他法人等の社外役員の兼職状況	株式会社朝日ネット社外取締役 日揮ホールディングス株式会社社外取締役 株式会社あらた社外取締役
久保直生	<span style="color: blue;">■</span> 社外監査役 <span style="color: purple;">■</span> 独立役員	業務執行者としての兼職状況	久保公認会計士事務所所長 日本土地家屋調査士会連合会監事 公益財団法人日韓文化交流基金監事 公益財団法人日本デザイン振興会監事 公益財団法人日本フェンシング協会監事
		他法人等の社外役員の兼職状況	—

- (注) 1. 当社の役員は2025年3月31日現在、取締役8名（うち社外取締役5名）、監査役3名（うち社外監査役2名）の計11名であり、そのうち9名が男性、2名が女性で構成されています。
2. 取締役のうち伊藤良二氏、山田秀雄氏、藤重貞慶氏、野々垣好子氏および南雲浩氏の5氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
3. 監査役のうち八尾紀子氏、久保直生氏の両氏は会社法第2条第16号および会社法第335条第3項に定める社外監査役であります。
4. 社外取締役および社外監査役の7氏全員を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
5. 常勤監査役吉井清彦氏および社外監査役久保直生氏は、以下のとおり、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。  
 ・常勤監査役吉井清彦氏は、他社にて、CFOとしての豊富な業務を経験しており、財務・会計の知見を有しております。  
 社外監査役久保直生氏は、公認会計士・税理士の資格を有しております。

## (2) 社外役員の兼職その他の状況

社外役員の重要な兼職につきましては、前記「1. 会社役員に関する事項 (1) 会社役員の状況」に記載のとおりであります。社外役員の重要な兼職先と当社との間には、特筆すべき取引関係はありません。

## (3) 責任限定契約の内容の概要

当社は、社外取締役および社外監査役が期待される役割を十分に発揮できるようにするとともに、有能な人材を招聘できるよう、2006年6月22日開催の第56回定時株主総会の決議により、定款に社外取締役または社外監査役との間で賠償責任を限定する契約の締結を可能とする規定を設けました。本規定に基づき、当社は、社外取締役および社外監査役7名全員と当契約を締結しています。当契約に基づく賠償の限度額は法令で定める最低責任限度額です。

なお、当社は、現時点では社外取締役以外の非業務執行取締役または社外監査役以外の監査役と責任限定契約を締結する具体的な必要性がないことから、責任限定契約を締結することができる対象を変更するための定款変更は行っていません。

## (4) 役員等賠償責任契約の内容の概要

当社は、保険会社との間で、当社および当社子会社の取締役、監査役、執行役員、管理職従業員等を被保険者とする、役員等賠償責任契約（D&O保険）を締結しており、保険料は全額当社が負担しております。当該保険の内容の概要は、被保険者が、その職務の執行に関し責任を負うことまたは当該責任

の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約により保険会社が補填するものであり、任期中1年ごとに更新しております。ただし、被保険者の犯罪行為等に起因する損害については補填の対象としないなど、一定の免責事由があります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容で更新を予定しております。

## (5) 社外役員の主な活動状況

社外役員の当事業年度における主な活動状況の一覧であります。

社外役員は、取締役会等において、各々が有する豊富な経験と高い見識および専門性を活かし、議案審議等にあたり有用な発言を積極的に行うとともに、経営陣から独立した立場に必要な助言を適宜行い、当社取締役会等の意思決定機能や経営の監督機能を果たしております。

### ■ 社外取締役

氏名	取締役会等における発言および社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要	取締役会への出席状況
伊藤良二	会社経営者および大学院教授としての豊富な経験と幅広い見識で、社内からは得られない所感や意見を述べるとともに、客観的かつ公正な立場から必要な発言を適宜行い、適切な役割を果たしております。	13回/13回(100%)
山田秀雄	取締役会では弁護士としての専門的な知識および豊富な経験と幅広い見識により、ステークホルダーの期待に応えるという視点で発言を行い、当社経営の監督機能強化および透明性・公正性の確保に貢献いただいております。	13回/13回(100%)
藤重貞慶	会社経営者としての豊富な経験と幅広い見識で積極的な発言を行っております。また、執行部に今までのご経験から経営へ活かす事ができるご講話を行うなど、貴重なアドバイスを適宜いただいております。	13回/13回(100%)
野々垣好子	事業会社における業務経験や海外子会社における経営経験に加え、他社での社外取締役としての豊富なご経験から経営全般を監督するための幅広い識見を有しており、中立的かつ客観的な視点から、積極的な発言を適宜行い、適切な役割を果たしております。	13回/13回(100%)
南雲浩	製造業における海外事業会社社長や本社経営役員のご経験に根差したグローバルな視点から、積極的な発言を行っております。また、当社の注目分野であるヘルスケア事業にも精通しており、これまでのご経験に基づき貴重なアドバイスをいただくなど、適切な役割を果たしております。	10回/10回(100%)

### ■ 社外監査役

氏名	取締役会および監査役会における発言状況	取締役会への出席状況	監査役会への出席状況
八尾紀子	国際的投資案件での事業分析の経験が豊富な弁護士として、多角的な見識から発言を行っており、社外監査役として適切な役割を果たしております。	13回/13回(100%)	14回/14回(100%)
久保直生	公認会計士としての専門的な知識および豊富な経験と幅広い見識から積極的な発言を行っており、社外監査役として適切な役割を果たしております。	13回/13回(100%)	14回/14回(100%)

## 2. 役員報酬（当事業年度に係る取締役および監査役の報酬等）

### ①役員報酬の個人別の報酬等の内容にかかわる決定方針に関する事項

役員報酬の報酬制度はコーポレート・ガバナンス上、極めて重要であることから、当社は役員報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針を取締役会で決議の上定めており、その内容は以下のとおりです。

- 1) 取締役会として、経営の重要な意思決定と経営陣の監督を行うことのできる人財を確保・維持できる「報酬水準」とする。
- 2) 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するものであり、株主を始めとするステークホルダーと価値観を共有できる「報酬制度」とする。
- 3) 取締役会が合理的で公正且つ透明性のある「報酬決定プロセス」を構築し、これを遵守する。

また、当社の取締役にかかる役員報酬は、固定金銭報酬である「基本報酬」と「業績連動金銭報酬」及び「業績連動株式報酬」により構成しており、その支給割合の決定の方針として、報酬総額の水準とのバランスを考慮し役位が上の者ほど業績連動報酬の割合を高めることとしています。尚、非業務執行取締役は固定報酬及び非業績連動株式報酬とし、監査役は固定報酬のみとしています。

以下のプロセスにより、個人別の報酬の内容の決定にあたっては、取締役会が公正且つ透明性の高い審議の実現に向け適切なプロセスを設定し、決定方針との整合性を含めた多角的な検討を行い、これを遵守する事で決定方針に沿うものと判断しております。

役員別基準・業績連動支給額及び支給係数の改訂……………取締役会（2022年2月）

当該年度評価（会社業績及び個人評価）案策定……………代表取締役及び社内取締役（毎年5月）

会社業績及び個人評価に応じた業績連動報酬の支給決定……………取締役会（毎年5月）

なお、2021年4月に設置した報酬諮問委員会で、上記プロセスを含め報酬全般に亘る検証を行っており、2024年度は6回開催しております。監査役報酬は、経営に対する独立性、客観性を担保する視点から固定報酬のみで構成され、各監査役の報酬は監査役の協議によって決定しております。

### ②取締役および監査役の報酬等についての株主総会決議に関する事項

当社の役員報酬等に関する株主総会の決議年月日は1997年6月27日開催の第47回定時株主総会であり、決議の内容は年額400百万円以内（但し、使用人分給与は含まない）と決議しております。当該決議に係った定時株主総会終了時点の取締役の員数は13名であります。

また、2021年6月18日開催の第71回定時株主総会において、2016年から導入するBIP信託を用いた業績連動株式報酬について、先に決定した年額400百万円の報酬限度額とは別枠として決議しております。その決議内容は、当社がBIP信託に拠出する金銭の上限について3事業年度を対象として500百万円（うち、社外取締役分として25百万円）、BIP信託から交付される株式数の上限について3事業年度を対象として180,000株（うち、社外取締役分として9,000株）としております。当該決議に係った定時株主総会終了時点の取締役の員数は9名であります。

尚、監査役の金銭報酬の額は、2019年6月21日開催の第69回定時株主総会において、年額70百万円以内と決議しております。当該定時株主総会終了時点の監査役の員数は4名です。

（注）業績連動株式報酬の決議内容には、取締役を兼務しない執行役員に対する報酬も含まれております。

### ③業績連動報酬等に関する事項

業績連動金銭報酬は、各取締役の役割・責任を踏まえた個別のインセンティブ設計により会社成長に資するモチベーションの向上および信賞必罰のパフォーマンス評価を行うという理由から個人課題達成評価を業績連動指標としております。業績連動株式報酬は、中期経営計画に掲げる経営指標を採用することにより株主との利害共有および中長期的な会社成長を促進するという理由から事業活動に直結した連結営業利益および資本生産性に関する指標である連結ROICを業績連動指標としております。業績連動株式報酬は、これらの指標に基づき毎年6月にポイントを付与し、その累計ポイント相当分の報酬等を対象期間（3事業年度）終了後に支給いたします。

### ④役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額および対象となる役員の員数

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額 (百万円)				対象となる役員 の員数 (人)
		固定報酬	業績連動金銭報酬	業績連動株式報酬	非業績連動株式報酬	
取締役 (社外を含む)	235	155	43	26	8	9
うち 社外取締役	69	63	0	0	5	6
監査役 (社外を含む)	39	39	0	0	0	3
うち 社外監査役	18	18	0	0	0	2

- (注) 1. 取締役の金銭報酬の限度額は、1997年6月27日開催の第47回定時株主総会において年額400百万円以内（但し、使用人分給与は含まない）と決議しております。
2. 取締役の株式報酬の限度額は、2021年6月18日開催の第71回定時株主総会において、当社がBIP信託に拠出する金銭の上限について3事業年度を対象として500百万円（うち、社外取締役分として25百万円）、BIP信託から交付される株式数の上限について3事業年度を対象として180,000株（うち、社外取締役分として9,000株）と決議しております。但し、係る決議内容には取締役を兼務しない執行役員に対する報酬も含まれております。
3. 取締役数には2024年6月で退任した社外取締役1名を含みます。
4. 監査役の金銭報酬の限度額は、2019年6月21日開催の第69回定時株主総会において年額70百万円以内と決議しております。
5. 上記の「業績連動金銭報酬」の額は、当事業年度に係る役員賞与引当金繰入額であります。
6. 上記の「業績連動株式報酬」および「非業績連動株式報酬」の額は、株式報酬として当事業年度に費用計上した額であります。

なお、2024年度実績に基づく役員別の業績連動報酬比率は以下のとおりであります。

役員	固定報酬	業績連動 金銭報酬	業績連動 株式報酬	非業績連動 株式報酬
代表取締役社長	44%	33%	21%	1%
取締役 上席執行役員	56%	27%	15%	2%
非業務執行取締役 (社内)	96%	—	—	4%
社外取締役	92%	—	—	8%
監査役 (社内)	100%	—	—	—
社外監査役	100%	—	—	—

### ⑤役員ごとの連結報酬等の総額等

連結報酬等の総額が1億円以上であるものが存在しないため記載しておりません。

## 連結計算書類

### 連結貸借対照表 (第75期 2025年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>91,558</b>
現金及び預金	27,432
受取手形、売掛金及び契約資産	29,697
有価証券	49
商品及び製品	14,917
仕掛品	953
原材料及び貯蔵品	13,085
未収入金	2,123
その他	3,573
貸倒引当金	△275
<b>固定資産</b>	<b>48,198</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>38,725</b>
建物及び構築物	15,552
機械装置及び運搬具	14,016
工具器具及び備品	2,963
土地	4,508
建設仮勘定	1,684
<b>無形固定資産</b>	<b>5,362</b>
のれん	28
ソフトウェア	1,629
ソフトウェア仮勘定	3,073
その他	631
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,110</b>
投資有価証券	163
差入保証金	1,412
繰延税金資産	1,899
退職給付に係る資産	35
その他	610
貸倒引当金	△11
<b>資産合計</b>	<b>139,757</b>

科目	金額
<b>負債の部</b>	
<b>流動負債</b>	<b>41,677</b>
支払手形及び買掛金	7,060
電子記録債務	9,645
短期借入金	3,137
リース債務	1,419
契約負債	7,761
未払金	4,920
未払法人税等	810
賞与引当金	1,133
製品保証引当金	119
その他引当金	1,009
その他	4,658
<b>固定負債</b>	<b>17,842</b>
長期借入金	11,059
リース債務	3,875
退職給付に係る負債	975
役員株式給付引当金	76
その他引当金	246
繰延税金負債	1,498
その他	110
<b>負債合計</b>	<b>59,519</b>
<b>純資産の部</b>	
<b>株主資本</b>	<b>68,012</b>
資本金	8,468
資本剰余金	5,347
利益剰余金	56,461
自己株式	△2,265
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>8,528</b>
その他有価証券評価差額金	7
為替換算調整勘定	8,447
退職給付に係る調整累計額	72
<b>新株予約権</b>	<b>12</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>3,685</b>
<b>純資産合計</b>	<b>80,237</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>139,757</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結損益計算書 (第75期 2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	
売上高		154,807
売上原価		91,336
売上総利益		63,470
販売費及び一般管理費		51,129
営業利益		12,341
営業外収益		
受取利息	559	
受取配当金	8	
仕入割引	31	
受取賃貸料	20	
その他	243	863
営業外費用		
支払利息	699	
為替差損	369	
有価証券評価損	3	
正味貨幣持高に関する損失	757	
その他	231	2,060
経常利益		11,144
特別利益		
固定資産売却益	30	
投資有価証券売却益	1,189	1,220
特別損失		
固定資産売却損	0	
固定資産除却損	20	
減損損失	631	
事業再編損	49	702
税金等調整前当期純利益		11,662
法人税、住民税及び事業税	2,568	
法人税等調整額	1,262	3,831
当期純利益		7,831
非支配株主に帰属する当期純利益		680
親会社株主に帰属する当期純利益		7,151

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結株主資本等変動計算書 (第75期 2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2024年4月1日 残高	8,468	7,763	51,718	△4,801	63,149
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△2,409		△2,409
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,151		7,151
自己株式の取得				△199	△199
自己株式の処分		17		302	319
自己株式の消却		△2,433		2,433	
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	△2,415	4,742	2,535	4,862
2025年3月31日 残高	8,468	5,347	56,461	△2,265	68,012

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
2024年4月1日 残高	429	7,689	9	8,127	19	2,789	74,085
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							△2,409
親会社株主に帰属する 当期純利益							7,151
自己株式の取得							△199
自己株式の処分							319
自己株式の消却							
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△421	758	63	400	△7	896	1,289
連結会計年度中の変動額合計	△421	758	63	400	△7	896	6,152
2025年3月31日 残高	7	8,447	72	8,528	12	3,685	80,237

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

以上

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

Topic  
01

## リチウムイオン電池リサイクル過程の情報化に成功、 輸送温度から資源化までトレースした事例

サトーは、(株)エンビプロ・ホールディングスと共同で、使用済みリチウムイオン電池（以下、LIB）のリサイクル工程における情報トレーサビリティの確立に向けた実証実験を実施し、成功を収めました。本実証では、お客さまから回収したサトー製プリンターの使用済みLIBを対象に、回収後の輸送からエンビプロ社による再資源化に至るまで、各工程の履歴を可視化するためのデータ収集と管理手法を検証しました。

使用済みLIBは、スマートフォンや電子機器、モバイルバッテリー、電気自動車などに広く使用されており、今後さらに廃棄量の増加が見込まれます。また、原材料となるレアメタルの安定供給が国際的にも重要な課題となっています。さらに、使用済みLIBの輸送や処理過程では、発熱・発火による事故のリスクも伴うことから、安全性の確保も求められています。こうした課題解決に向け、サトーはエンビプロ社と協力し、資源循環のための新たな管理・運用モデルの構築をめざしています。

このたびの実証は、使用済みLIBを運搬するドラム缶にRFID温度ロガータグ「LogBiz - Thermo」を装着し、輸送中の温度情報などをリアルタイムで収集。ドラム缶単位でIDを付与し、回収日時や輸送経路、再資源化工程における処理履歴をクラウド上に蓄積しトレースできるかを実験しました。その結果、在庫管理や工程の可視化を可能とする情報を取得し、再資源となったブラックマス\*1までの追跡が可能となりました。

本実証で得られた知見は、データ精度や仕組み自体を向上させることで、LIBのリサイクルプロセスにおける透明性・安全性の実現が期待できます。また、サーキュラーエコノミー実現に貢献する重要なステップとなります。今後は、LIBの回収・処理・再利用の各段階における情報を統合的に管理するバッテリーパスポート\*2や、経済産業省が提唱する「ウラノス・エコシステム」への連携も視野に入れ実験を継続します。環境課題の解決と持続可能な社会の実現に向けた先進的な取り組みを推進してまいります。

\*1 ブラックマス：再資源化されたリチウム、コバルト、ニッケルの濃縮粉末  
\*2 バッテリーパスポート：電池の製造から廃棄までの情報を一元管理する仕組み



サトー製プリンターから回収した使用済みリチウムイオン電池



リチウムイオン電池の再資源過程を可視化した情報



ドラム缶に装着したRFID温度ロガータグ

### 担当部門 コメント

今回の実証では、RFIDをこれまでとは異なる“再資源化”という新たな領域で活用し、廃棄物処理やリチウムイオン電池のリサイクル工程における情報のデジタル化と可視化に挑戦しました。社会的ニーズが急速に高まる電池の資源化において、回収から再資源化までを正確にトレースできる仕組みの構築は、技術面だけでなく仕組み設計の観点からも多くの壁があり、試行錯誤の連続でした。しかし、現場の実態と向き合いながら取り組む中で、多くの実用的な知見と、新たな課題も見えてきました。

今回の取り組みを通じて、RFIDの可能性が物流や製造を超えて、資源循環や環境領域といった新たな市場にも広がることを実感しています。今後も、社会にまだ存在していない情報をサトーの現場力でかたちにし、社会にとって本当に必要とされるソリューションの開発と実装に取り組んでまいります。



(株)サトー  
国内営業本部  
新市場戦略部  
部長  
清水 香晶

Topic

02

## マイボトル利用促進プログラムを関電工が導入

サトーは、象印マホービン(株)および総合地球環境学研究所と連携し、マイボトル利用の定着を通じたプラスチックごみ削減とCO<sub>2</sub>排出量削減をめざす「マイボトル利用促進プロジェクト」を推進しています。2024年4月より田町本社で行った実証実験では、6カ月で約12,000個ものプラスチックカップと880kgのCO<sub>2</sub>削減につながりました。

本プロジェクトでは、サトー独自の仕組みを開発し、社内にRFIDリーダー付きマイボトル洗浄機を設置。RFIDタグを貼ったボトルの洗浄回数を取得し、プラカップ削減数とCO<sub>2</sub>削減量を算出。専用アプリで環境効果を“見える化”し、マイボトル利用の習慣化を促す行動変容プログラムとして機能しています。

2024年11月には、本プログラムの効果と仕組みが評価され、総合設備企業である(株)関電工の本社オフィスへ導入されました。年間約36万本のペットボトルが使用されている同社において、マイボトル活用の定着による環境負荷の低減は大きな意義を持ちます。RFIDを用いた行動データの可視化と、それに基づくCO<sub>2</sub>削減量の算出・共有は、これまで社会で実現されていなかった“行動の環境効果”の定量的把握に向けた先進的な試みであり、企業の環境経営にも資する新たなアプローチとして期待されています。

当社にとっても、この取り組みはRFIDの新たな活用領域の開拓であり、環境・行動・テクノロジーを融合したソリューションとして今後の拡張性が期待できます。今後も他の民間企業や自治体への展開を推進し、社会課題の解決に貢献してまいります。



※マイボトル洗浄機は、象印マホービン(株)が開発中の製品です。

Topic

03

## 自動認識技術でトピックスを紹介

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

下のQRコードを読み取ると、各トピックスのニュースリリースを閲覧できます。

ラベルプリンターなど複数端末を  
リモート管理[SATO Mobile  
management System]提供開始

<https://www.sato.co.jp/about/news/2025/release/04-14-1.html>



サトー、ベトナムの製造拠点で  
消費する電力を  
再生可能エネルギー100%へ

<https://www.sato.co.jp/about/news/2025/release/02-25-1.html>



大阪医科薬科大学病院で  
RFIDリストバンドを導入

<https://www.sato.co.jp/about/news/2025/release/04-23-1.html>



# 株主総会 会場ご案内図

会場

東京都港区芝浦三丁目1番21号

msb Tamachi 田町ステーションタワーS  
4階 TKPガーデンシティPREMIUM田町

最寄駅

JR山手線

JR京浜東北線

田町駅 東口出口より徒歩1分

都営浅草線

都営三田線

三田駅 A4出口より徒歩5分



NAVITIME 出発地から株主総会会場までスマートフォンがご案内します



目的地入力は  
不要です!

スマート招集内「NAVITIME ルート検索」によるナビ誘導も併せてご利用ください。右のQRコードからでもご利用いただけます。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

## ご案内

- ・お土産のご用意はございません。
- ・車椅子でのご来場の株主さまには、会場内に専用スペースを設けております。ご来場の際は、会場スタッフがご案内いたします。